

# 安全データシート

## 1. 化学物質および会社情報

品名：フェノール / フェノール J / フェノール（高密度品）

社名：フジ化学工業株式会社

担当：マネジメントシステム部

TEL：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2018年12月20日 改定：2019年3月6日

## 2. 危険有害性の要約

### <GHS分類>

物理化学的危険性：いずれの項目も区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：いずれの項目も区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性：いずれの項目も分類できない。

### <ラベル要素>

絵表示：該当なし。

注意喚起語：該当なし。

危険有害性情報：該当なし。

注意書き：該当なし。

## 3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物

成分：

発泡させたフェノール樹脂成形体に、無機質充てんがラス繊維混抄紙を張り合わせた成形体。

化学式：（フェノール樹脂成形体）特定できない。

CAS No.：（フェノール樹脂成形体）特定できない。

## 4. 応急措置

眼に入った場合：

切削くず、粉じん等が眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流す。

眼に異常を感じた場合、医師の診察、手当を受ける。

吸入した場合：

粉じんや加熱等により生じたガスを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移して安静にさせる。

気分が悪い場合、医師の診察、手当を受ける。

皮膚に付着した場合：

切削くず、粉じん等が皮膚に付着した場合、水と石けんで洗う。

かゆみや紅斑が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口の中をすすぐ。無理に吐き出させない。

直ちに医師に連絡する。

## 5. 火災時の措置

消火剤：水、粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。

特定の消火方法：指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行う者の保護：呼吸保護具、化学品に対する保護服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

回収作業では適切な保護具を着用する。

回収物を廃棄する場合は、廃棄物処理法、関係する地方自治体の条例に従い処理する。

環境に対する注意事項：

環境中に放出しない。本品が河川や湖沼等に流出した場合は必ず回収する。

回収、中和、封じ込めおよび浄化の方法、機材：

漏出した粉じん、屑等は流れを止め、安全な場所にその流れを導く。

掃き集めるなどして、回収する。

環境中に放出しないように注意する。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないように適切な保護具を着用する。

保管：

高温、火気、多湿、水ぬれ、直射日光を避ける。

常温常湿の室内に保管する。

## 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：粉じんとして

日本産業衛生学会：4mg/m<sup>3</sup>（総粉じん）

ACGIH 勧告値：10mg/m<sup>3</sup>（総粉じん）

設備対策：

切断、加工作業では、集じん装置、局所排気装置を設置する。

保護具：

防じんマスクなどの呼吸器保護具を着用する。

適切な保護眼鏡（普通眼鏡、側板付き普通眼鏡、ゴーグル等）、保護面を使用する。

長袖衣などの保護衣、保護手袋を着用する。

## 9. 物理的および化学的性質

形状：茶褐色固体（フェノール樹脂成形体）。

臭い：なし。

揮発性：なし。

pH：非該当。

融点：データなし。

引火点：220℃以上。

発火点：500℃以上。

密度：0.03 - 0.08 kg/m<sup>3</sup>

溶解性：水、有機溶剤に不溶。

燃焼性：難燃性（酸素指数 30 以上）。

## 10. 安定性および反応性

安定性、危険有害反応可能性：常温以下では安定。

避けるべき条件：水濡れ、高温多湿を避ける。

安定性：通常の取り扱いで安定である。

危険有害反応可能性：粉じんは爆発性混合気を生じる場合がある。

危険有害分解生成物：強い熱、燃焼等により、一酸化炭素、 $\text{SO}_2$ 等を発生する。

## 11. 有害性情報

製品としての有害性情報：

製品としての情報なし。

切削くずや粉じんで物理的な刺激作用が考えられる。かゆみや紅斑が生じる場合がある。

## 12. 環境影響情報

製品としての有害性情報：製品としての情報はないが、環境中に流出すると影響が考えられる。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法、関係する地方自治体の条例に従って処理する。

許可を受けた処理業者に処理委託する。

## 14. 輸送上の注意

注意事項：

輸送中、製品の飛散、日光による紫外線ばく露、雨などによる水濡れを避ける。

シート掛けなどの必要な措置を講じる。

バンド掛けを行う場合、製品の端部が凹まないよう保護板を介す。

製品の荷揚げ、荷下ろしでは、乱暴な取り扱いを避ける。

国連分類、国連番号：非該当。

指針番号：非該当。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：非該当

毒物および劇物取締法：非該当

消防法：非該当

化学物質管理促進法：非該当

## 16. その他の情報

引用文献：

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム  
化学工業日報社 15307 の化学商品

本書は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで、使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。